



▲ 未来をつくるのは君たち（蒲生中体育祭）

かごしま  
**あいら**  
市議会だより

No.10 **9月定例会**  
平成24年11月30日発行

指摘課題の検証

10

新議員決まる

9

議会報告会の開催

20

**決算**

認定**446**億円  
2

# 446億円を認定



▲30年つづく漆小児童たちの運動会でのバラ踊り

## 会計別 歳入額

一般会計 288億6513万円  
特別会計 157億8393万円

第3回定例会は、9月6日から10月12日までの37日間の会期で開かれました。

平成23年度決算のほか、条例の一部改正1件、補正予算、請願1件、陳情2件を審査しました。

陳情1件を継続審査として、残りの議案はすべて原案のとおり可決しました。

## 決算審査の手法

審査は、決算審査特別委員会を設置して、各常任委員会別に総務、市民福祉、産業文教、建設水道の4つの班を編成して行いました。

審査にあたっては次のような事項に着眼点を置いて行いました。

- ① 議決した予算が趣旨・目的に沿って効率的・的確に執行されたか。
- ② 行政効果がどのように発揮できたか。
- ③ 指摘すべき事項は何か。
- ④ それを踏まえて今後の行政運営に改善工夫すべき事項は何か。

## 決算審査の結果

班長は、班会で審査した結果を全体会で報告し、質疑・討論を行い、本会議において認定しました。  
(詳細は4ページ以降)

# 平成23年度 決算 総額



▲しっかり鍛えて五輪を目指せ（蒲生スピードランナース）

**一般会計**  
13億8230万円黒字

一般会計の歳入額は28億6513万円、歳出額は273億9514万円で、繰越額を差し引いた額13億8230万円は、黒字決算です。総合計画や各種計画策定等多くの業務を行い、市税等の徴収には全庁を挙げて取り組むなど、成果は評価できます。（詳細は5ページ）

**特別会計**  
5億3058万円黒字

国民健康保険事業など、11の特別会計審査を行ないました。特別会計の歳入額は157億8393万円、歳出額は152億5335万円で、5億3058万円の黒字であり、成果は評価できます。（詳細は5ページ）

**水道事業会計営業収益**  
2億4121万円

水道事業は、市の財政運営とは別個の企業経営形態です。給水事業の消費税抜き営業収入は11億7456万円、支出は9億3334万円で、営業収益は2億4121万円です。一方、水道施設の建設改良と維持管理に要する資本的経費は、収入1億5522万円、支出5億9667万円で、不足額4億4145万円は、23年度の消費税・積立金等で補てんしました。

**市民ひとり当たり借金額**  
47万円

23年度末の市債（借金）残高は、355億2809万円で、市民ひとり当たりの借金は47万円です。前年度と比較すると7億8772万円2.2%の減になっています。（詳細は5ページ）

**市民ひとり当たり預金額**  
10万円

23年度末の24の基金残高は、75億9727万円で、市民ひとり当たりの預金額は10万円です。前年度と比較すると3億9727万円増額しています。（詳細は5ページ）



▲帖佐運動場の水洗トイレ（新市になって改良されました）

# 分析 歳入 288億 695万3千円 歳出 273億3686万8千円



▲気持ちはひとつ はじける笑顔（帖佐中体育祭）

決算の成果分析のため差額  
歳入△5817万7千円 歳出△5827万6千円

2ページには、一般会計の歳入288億6512万9千円、歳出273億9514万4千円が示されています。

4ページには、歳入288億695万3千円、歳出273億3686万8千円が示され、差額は歳入△5817万7千円、歳出△5827万6千円です。決算の成果を分析する対象金額は、2ページの決算額から借換債※①など、特定の費用を差し引いた額です。

## 健全化判断比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により、平成23年度決算に基づいて算定した始良市の健全化判断比率は、以下のとおりです。

### ①実質赤字比率

歳入から歳出と繰越額を差し引いた額は黒字決算でした。

### ②連結実質赤字比率

一般会計・特別会計及び企業会計等の合計収支で、黒字決算でした。

### ③実質公債費比率※②

数値が高いほど財政硬直の一因と言われています。本年度は12・1%で前年度比0.5%低くなっています。

### ④将来負担比率

将来負担比率は72・5%で前年度比74%改善されています。

## ⑤経常収支比率

本年度は90・7%で、前年度と比較して5.9%悪化しています。

数値が高いほど財政の硬直化が進んでいることを示します。県内の平均は89・1%です。

人件費・扶助費など経常経費の削減に努める必要があります。

景気低迷に伴う税収等の減額が予想されましたが、前年度比1.1%の増額でした。高齢化の進展等に伴う扶助費の増額6億5626万円など、厳しい財政環境の中で概ね良好な財政運営が行われていると判断され、採決の結果賛成25人、反対2人で認定しました。



▲市民の生命と財産は私たちが守ります

# 決算を

※① 銀行からの借金は、金利の動向に対応できるように、5年毎の借り換えが義務付けられています。

今回の借り換えは、加治木龍門陶芸・健康の里整備事業債です。

※② 収入に対する借金返済額の割合です。

○早期健全化を義務付ける基準は25%です。

○財政再生基準は35%で、財政再生事例は、債権団体となった夕張市です。

表-1 会計別の決算額比較と占める割合

(単位：千円)

会計区分	歳入総額	歳出総額	繰越財源	実質収支額	割合(%)
一般会計	28,865,129	27,395,144	87,676	1,382,309	64.2
特別会計	15,783,931	15,253,352	0	530,579	35.8
国保事業	8,725,757	8,413,031	0	312,726	19.7
国保施設	94,292	85,137	0	9,155	0.2
後期高齢者医療	829,388	812,206	0	17,182	1.9
介護保険事業	5,605,480	5,422,512	0	182,968	12.7
介護保険サービス	68,027	63,556	0	4,471	0.1
簡易水道施設	141,250	138,166	0	3,084	0.3
農業集落排水	60,538	59,655	0	883	0.1
地域下水処理	23,809	23,721	0	88	0.1
農林労働者共済	2,618	2,605	0	13	0.0
土地区画整理	232,772	232,763	0	9	0.5
合計	44,649,060	42,648,496	87,676	1,912,888	100.0

会計別歳入・歳出総額の分析

一般会計と特別会計の歳入・歳出総額等を表記しました。

歳出総額の割合は、一般会計64%、特別会計36%で、国保事業20%と、介護保険事業13%がシェアを占めています。

表-2 市債（借金）一覧表（借換債を除く）

(単位：千円)

区分	平成22年度末残高	平成23年度償還額	平成23年度借入額	平成23年度末残高
一般会計	34,440,562	3,299,712	2,749,700	33,890,550
北山診療所	19,462	866	0	18,596
簡易水道施設	929,495	49,096	30,900	911,299
農業集落排水	591,273	30,189	0	561,084
土地区画整理	335,014	188,458	0	146,556
計	36,315,806	3,568,321	2,780,600	35,528,085

23年度末の市債残高35億2809万円

一般会計から各事業会計別の市債残高を表記しました。

23年度の残高は35億2809万円で、22年度比較で7億8771万円減額しています。

後年度に地方交付税で交付される額を含みます。

表-3 基金残高一覧表

(単位：千円)

区分	平成22年度末現在額	平成23年度中増減額	平成23年度末現在額
財政調整基金	3,098,000	21,900	3,119,900
減債基金	427,000	440,200	867,200
地域づくり推進基金	300,100	100	300,200
土地開発基金	1,067,000	600	1,067,600
その他特定19基金	2,311,148	△68,776	2,242,372
合計	7,203,248	394,024	7,597,272

23年度の基金残高75億9727万円

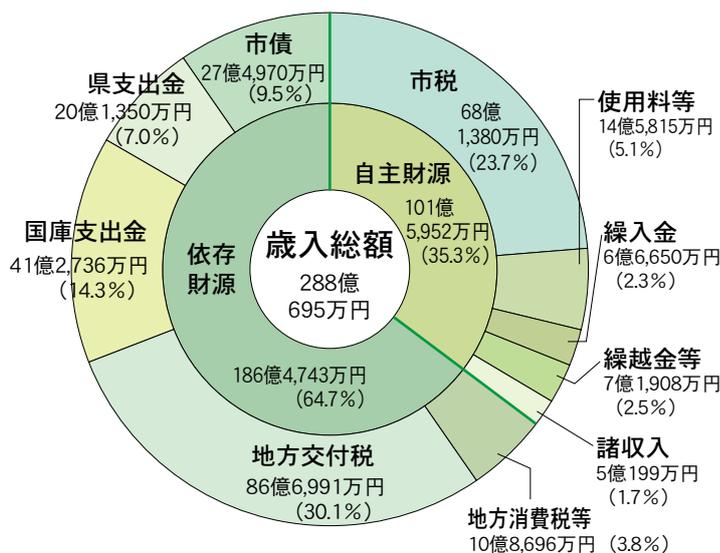
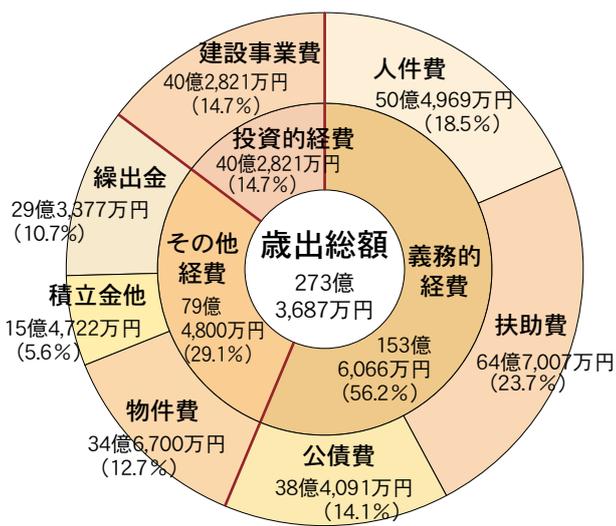
基金は、緊急時の財源不足を補うためのもので、23基金総額75億9727万円で、3億9402万円の増額です。

財政調整基金は、全ての財源不足に対応できませんが、その他の基金の使用はそれぞれの目的に限られます。

# 歳入と歳出の区分

## 歳出

## 歳入



### 義務的経費 56%

義務的経費は、人件費、扶助費、公債費（借金返済）に充当する経費で、歳出の56%です。

22年度比較は、8億8,690万円6%増額です。

- 人件費が1億4,806万円3%増額。
- 扶助費が6億5,626万円11・3%増額。
- 公債費が64,588万円1.7%増額。

### その他の経費 29%

その他の経費は、歳出総額から義務的経費と投資的経費を除いた経費で歳出の29%です。

22年度比較は、1億2,748万円16%増額です。

- 物件費1億6,266万円3%増額。
- 維持補修費等1億2,748万円16%増額。
- 積立金2億5,699万円29%減額。
- 繰出金1億3,012万円4.6%増額。

### 投資的経費 15%

投資的経費は、建設事業費と災害復旧事業費です。

22年度比較は、5億8,485万円17%増額です。

- 普通建設事業費6億1,877万円18%増額。
- 災害復旧事業費1,702万円25%減額。

### 自主財源 35%

自主財源は、市民税など始良市が独自に産み出す財源で歳入の35%です。

22年度比較は、13億6,199万円14・8%増額です。

- 市税が75,522万円1.1%増額。
- 使用料等が4億4,628万円44%増額。この中にはヤマエ久野へ売却した須崎の土地売却費4億5,951万円が含まれます。
- 繰越金が2億3,624

### 依存財源 65%

依存財源は、国が交付する交付金及び地方交付税、国庫の補助金、市債で、歳入総額の65%です。

22年度比較は、4億5,433万円6.3%増額です。

- 地方消費税等が2%減額。
- 地方交付税は変わらず。
- 国庫支出金が16%増額。
- 県支出金が6%増額。
- 市債（借金）が2%の減額です。

## ポリオワクチン接種

委託料 **2655万円**



▲元気に大きく育ってね、お母さんのお願い

ポリオの予防接種は、本年9月1日から、生ワクチンから不活化ワクチンに、また集団接種から個別接種に切り替えられました。

標準的接種年齢は、生後3か月から18か月に達するまでの期間に、3回皮下注射します。

対象者には直接お知らせをしています。

**質疑** 大きな財源を伴うが、今回の改正の目的は何か。

**答弁** 世界的には、不活化ワクチンが主流である。生ワクチンは、まれにマヒを引き起こすことがあり、安全である不活化ワクチンに切り替えられた。

また、集団接種は限られた期間で受けてもらっていたが、個別に病院で受けていただく方が、接種率は向上すると考えている。

# 補正

暮らしやすいまちづくり

県内一暮らしやすいまち「始良市」をめざして身近な事業をピックアップしました。

## 始良公民館大規模改修の設計委託料

**975万円**

始良公民館は築38年が経過しており、耐震診断の結果、耐震補強工事が必要なことが判明しました。

それに合わせて、外壁工事、屋根改修、各会議室・トイレ改修、エレベーター設置など大規模改修工事を実施します。

そのための設計委託料です。

**質疑** 工事はいつからか市民へのお知らせはどう

するのか。また、予算はどの位か。

**答弁** 平成25年度を1年間休館にして改修を行う。市の広報誌に載せて、利用者には代替りの施設を案内する。

約2億5000万円から3億円程度を予定している。



▲25年4月より改修予定の始良公民館

## 龍門司坂駐車場の土地購入 434万円



▲観光駐車場として整備します

龍門滝、龍門司坂、金山橋等の観光客の利便性向上のため、龍門司坂入口南側の田(571㎡)を購入し、観光駐車場として整備していく計画です。

## 青年就農給付金 375万円



▲ホウレン草の種まきです

「人・農地プラン」に位置づけられた市内で営農を志す青年就農者(経営開始型)に、年間150万円が給付されますが、対象者5人に10月からの半年分75万円が給付されます。

すべて有機栽培農家であり、始良地区3人、蒲生地区2人です。

## 消防本庁舎隣の土地・建物購入 5306万円

消防本庁舎は約40年経過し、現在地に建て替える計画をしています。

所・書庫等に利用価値もあることから、現状のまま買い取ります。

市道(西中道線)への出入口等の利便性を考慮して、北側に隣接する土地と建物を購入します。

土地は4筆で704㎡、建物は、鉄筋コンクリート造り2棟、鉄骨スレートぶき倉庫1棟です。

庁舎建設の間中は、消防署の一部機能(宿泊



▲庁舎建設のため、この土地・建物を購入します

### 条例

## 龍門滝温泉の休館日を水曜日に

市内に設置している龍門滝温泉と、くすの湯の休館日を別々の曜日に設定して、利用者の利便性の向上と集客数の増加を図ります。

龍門滝温泉の休館日を

試行的に本年4月から水曜日に変更して営業した結果、4月からの4か月の実績では、前年同月に比べ1日平均46人の増

加で推移しています。

休館日を水曜日に変更する方が利便性は高いと判断し、龍門滝温泉は、水曜日休館とします。

くすの湯は今までと同じ月曜日です。

# 請願と陳情

**採択** 2件  
**継続** 1件

## 米丸上地区(蒲生)の水道事業早期推進の陳情

**採択**

提出者 福留 均  
組合代表

**主旨** 当組合では、飲料水の確保に、今日まで設備の改善や施設の維持・管理を行って参りましたが、次のような課題に直面しています。  
○30年が経過し、組合世帯の高齢化、契約戸数の減少で、各戸の使用料や管理負担が大きくなってきた。  
○揚水ポンプが15年以上経過し、ポンプの更新や設備の改修が迫っている。  
○市の「簡易水道等の認定」も導入検討したが、当組合での運営・管理は大変厳しいものがある。  
以上の事由により、当地区への給水を、始良市水道事業により、早期に推進していただきたい。

**反対討論** 堂森 忠夫  
過去の航空機テロは一番安全で、米軍が海を守り貿易船が安全に航海できる。尖閣諸島や今の外交状況下での請願は、逆に国家混乱を招く。国・地域を守るため、双方の条件を満たす保証が請願内容にはない。

**賛成討論** 堀 広子  
墜落事故を繰り返す輸送機オスプレイの飛行は安全性に重大な問題があり、環境破壊も危惧される。配備計画に対し、全国106自治体が中止を求める意見書を可決した。日本政府は国民の声に応え、配備強行を止めるべきである。  
**賛成討論** 兼田 勝久  
国際情勢を考えると、対等・平等な日米同盟は必要である。しかし、オスプレイは安全が確保されておらず、その配備は米国側の一方的な押しつけであり、飛行ルートも全国一円である。市民の命と暮らしを守るため賛成する。

## 米軍輸送機オスプレイの配備撤回を求める請願

**採択**

提出者 野村 昭也  
紹介議員 里山 和子

**主旨** 日米両政府は、国民の強い反対を無視して、輸送機オスプレイを普天間に配備する計画を進めています。  
米国の高官でさえ認めている危険なオスプレイを、世界一危険な普天間基地に配備し、日本全土で飛行訓練をするなど認められない。始良市議会として、反対する意見書を決議していただきたい。

## 意見書

「オスプレイの配備撤回」および「地方財政の充実・強化を求める」意見書を内閣総理大臣他関係大臣に提出しました。



▲安全が危惧されるオスプレイ

## 市議補欠選挙当選者決まる



川辺 信一氏 (仮屋町)



吉村 賢一氏 (新生町)

始良市議会議員補欠選挙(加治木選挙区)が行われ、吉村賢一氏(65才)と川辺信一氏(64才)が無投票当選されました。任期は平成26年4月24日までです。

## 継続審査

### 市営住宅建設による地域活性化の陳情

提出者 榮 一也

# 検証課題の指摘

市議会では、平成22年度決算審査で市が解決すべき課題を指摘しました。

今、始良市の中で何が起きているのか、市はそれらをどのように解決しようとしているのか、1年にわたる市行政の取組を検証しました。

今回はその中で身近な問題のいくつかを紹介します。



▲市民の新しい交流の場（蒲生地区「ふれあいの森 冒険遊び場」）もみなさんの税金が活用されています

**現状と問題点**  
市民税の未納額は、平成22年度の2億4221万円が、平成23年度には2億3023万円となり、約1188万円減少しています。

**今後の解決策**  
滞納整理指導官の指導のもと実態調査に加え、差押等滞納処分強化を図ります。また、年末・年度末の臨戸徴収の実施文書催告を行い、納税意識を高めています。

**収納未済額の減少を図れ**  
**収納対策強化で、収納率向上**

平成23年度は現年徴収担当職員の配置による収納対策強化や口座振替推進等により、前年度の収納率を若干上回りました。不況の長期化や国保料率引き上げなどで徴収率の低下につながる懸念もあります。

今年度は税務課職員に担当地区を割当て、徴収強化期間を年数回設けるなどして、より細かく収納率向上に努めていきます。

**現状と問題点**  
高齢者虐待対応件数は平成22年度が13件、23年度が20件でした。虐待防止に向け、家族介護者交流事業は有効な手段と考えられます。

**今後の解決策**  
今後は介護者がいつでもどこでも家族介護者交流事業に参加できるように、委託事業所の拡充に努めます。

また、高齢者虐待の予防と早期発見のための啓発活動を推進します。

「認知症高齢者徘徊OSネットワーク」をさらに強化することで、高齢者虐待の防止および早期発見に努めます。



▲介護の近況を報告しあっています  
みんなで話し合い、聴くっていいですね  
（ビューティーアップ講座）

**家族介護者交流事業の充実を図れ**  
**延べ460人の家族介護者が参加**

# 23年度決算指摘事項

## 一般会計

- 税負担、受益者負担、使用者負担等の公平性確保や財政の効率的な運用を図るためにも各部局で連携し、全庁を挙げて収入未済額の減少に取り組むこと。
- 霧島錦江湾国立公園の指定に伴う観光開発は、国・県と連携をし、整備を図ること。
- 特定健診や各種検診の受診率向上対策を講ずること。
- 資源ごみの分別化を徹底し、ごみの減量化に努めること。
- 農林産物への鳥獣被害防止に向けて、関係機関・部署と連携を図り、更なる鳥獣被害防止対策に努めること。
- 児童・生徒の安全確保を図るため、校舎外壁等の改修工事を急ぐこと。
- 地元業者の育成に十分配慮すること。

## 特別会計

### 【国民健康保険事業】

- 医療費抑制のため、各種保健事業の充実を図ること。
- 国保税の徴収率向上を図ること。

### 【介護保険事業】

- 特別養護老人ホームへの待機者解消に努めること。

### 【簡易水道事業】

- 上水道使用料と簡易水道使用料の料金統一を早急に行うこと。

### 【農業集落排水事業】

- 農業集落排水施設へのつなぎこみ率向上を図ること。

### 【農林業労働者災害共済事業】

- 農林業労働者災害共済について、更に加入促進に努めること。

### 【水道事業】

- 水道情報管理システムは、建設部・農林水産部とも連携し、市全体の業務に利用できるシステムとして構築していくこと。

## スターランドAIRAと近隣施設の連携を図れ

### 施設間でタイアップ事業を展開

#### 現状と問題点

北山の3公共施設（スターランドAIRA、北山野外研修センター、北山伝承館）は利用者の年齢や目的が異なり、個々に利用されるケースが多くあります。

を図る必要があると考えます。

#### 今後の解決策

3施設の概要を網羅した総合パンフレットで、

目的の達成と、より大きな成果が得られることを支援するため、今後は近隣施設という好条件を活かしたタイアップ事業や研修プログラムの充実



▲自然体験と天文観測の組み合わせで、子ども達のワクワクも倍増です

進に努めます。

今後相互連携で利用促進に努めます。

プ事業を実施しており、

験を取り入れたタイアップ

では、天文観測と自然体

と北山野外研修センター

スターランドAIRA

隣接施設も併用した利用

## 上水道と簡易水道の料金統一を急げ

### 平成26年度を目途に統一を目指す

#### 現状と問題点

加治木地区と蒲生地区

の簡易水道料金は上水道

料金と同額ですが、始良

地区の簡易水道料金および

飲料水供給料金は上水道

料金と異なります。

合併協議において5年

以内に統一することにな

っています。現状では

統一はされていません。

今後の解決策

簡易水道に加え、上水

道の料金統一も同時期に

実施すべきですが、上水

道は将来の需要量を予測

して施設計画を立て、健

全運営するための料金設

定が必要となります。

新しい水道使用料の料

金設定は平成26年度を目

途としており、上水道・

簡易水道の料金統一を实

施したいと考えています。



▲これからも安心・安全な水の供給に努めます

# 鋭く切り込む

## 一般質問 15人登壇

湯川 合併して、それぞれ地域の伝統無形民俗文化財が継承されている。



湯川逸郎議員

年に一度、一堂に会して市民にお披露目する方策は考えないか。

教育長 太鼓踊りや棒踊り等の民俗芸能は、文化財保護法では、保存・伝

### 無形民俗文化財

一堂に会してのお披露目  
教育長／協力を積極的に要請

承と並んで、市民への公開も大切な事業である。今後、主催の文化芸術祭や記念式典、各地の秋祭りでの披露等、積極的に協力を要請する。

### スマートIC

#### 位置と周辺道路整備

市長／地区協議会で決定後具体的に示す



和田里志議員

和田 市の核の部分に人の流れを作るために、スマートインターチェンジを設置し、周辺の道路整備を掲げているが、インターの位置と具体的道路整備について示せ。  
市長 現在、12月開催予定の地区協議会に向けて、事前打合せや作業部会を開催し、協議している。この地区作業部会で位置等決定後、周辺道路の整備計画を含めて、具体的に示したい。

#### 市有地の売却促進

市長／宅地の売却と情報整理を進める

和田 区画整理後の土地の処分をどのように行っていくか。合併前から保有するそれぞれの土地に



▲スマートICの設置候補とされる九州縦貫道「桜島サービスエリア」付近

ついて、その運用・活用方針を問う。  
市長 新聞広告やリーフレットの配布等による周知を図りながら販売を進める。  
旧町から引き継いだ土地については、販売可能

な宅地等の情報整理を進め、活用の見込めない土地は、売却する方向で検討する。  
その他の質問  
○第3次実施計画策定  
○幹線道路の渋滞対策

# 市政の課題に



森 弘道議員

## 観光バス

### 義弘公居館跡を拠点に

市長／観光基本計画で整備



▲勇壮な太鼓踊り（加治木）

**森** 島津義弘公の帖佐居館跡を中心とする宇都、鍋倉、米山薬師一带を観光拠点として観光バスの乗り入れを図れ。

**市長** 帖佐居館跡周辺は、歴史的にも価値がある史跡が散在している。

史跡整備と並行して観光地としての整備を図るべきと考える。

駐車場、トイレ等の環境整備は、現在策定中の観光基本計画の中で位置付け整備を図る。

### 花園寺史跡の評価

教育長／江戸初期の庭園遺構は特筆すべき

**森** 最近発掘された花園寺などの史跡をどのように評価しているか。

**湯川** 合併して3年目に「集落再編」なるか、市内の集落再編が、市長の補助金交付制度で取り組む。及び過疎地域の維持存続に向けての対策はどのように考えているか。

過疎地域の維持存続は、地域にふさわしい組織づくりを検討し、本年度から取り組む。

### ○鳥獣被害対策

**市長** 市内には330の自治会がある。再編については、いくつかの自治会が合併した場合、市全域が適用される補助金交付制度の整備を進める。

島県では稀な、江戸初期の庭園遺構が確認された。

### その他の質問

○店舗、宅地開発が進む地域の排水対策

**教育長** 花園寺は江戸初期に義弘公の看経所跡に建てられ、後に修験者の米良家に譲られたものである。



▲江戸初期枯山水様式の花園寺跡

## 導入に向けての条件整備

市長／助成制度を検討

### エネルギー問題



本村良治議員

本村 再生可能エネルギーの導入に向けての条件整備をどのように進めるか。

市長 今年度作成する第3次総合計画において、家庭用太陽光発電施設の設置に対する助成制度を検討することとしている。これにより、家庭にお



▲発電中のソーラーパネル（帖佐中）

ける再生可能エネルギーへの取組みを応援し、環境保全に対する理解を推進したい。

### 生活保護受給者支援

市長／専任の就労支援員を配置

本村 生活保護受給者への就労支援はどのように行っているか。具体的な事業名を挙げて説明せよ。

市長 自立支援プログラム事業として、平成22年10月から専任の就労支援員を配置し、始良ふるさとハローワーク等との連携により重点的に推進してきた。

市とハローワーク国分と「福祉から就労」支援事業に関する協定書を締結し、就職等に関する目標を定め効果的・効率的な就労支援を行っている。

## 地域再生と雇用

### バイオ型の薪ボイラー設置

市長／検討している



堂森忠夫議員

堂森 くすの湯にバイオ型の薪ボイラーを設置すると、森林組合や輸送業務などの雇用が期待できるかどうか。

市長 くすの湯活性化検討委員会で検討しているところである。

間伐材、竹、木くず等による木質バイオマスによる自然エネルギー利用が図られれば、林業の活性化や雇用など多くの波及効果が期待できる。



▲改修が待たれる辺川消防車庫

### 辺川消防車庫の補修

市長／早急に検討

堂森 永原分団の辺川消防車庫と分団員詰所は、屋根や外壁の下地材が腐食して雨漏りする。

地元材を活かした補修整備を図れ。

市長 車庫と詰所は、旧鎮守小学校木造校舎跡の一部を、これまで修繕を重ねながら使用してきており、屋根・壁等に欠損や腐食等が進んでいる。

早急に点検し、今後の対応については、地元の要望を聞きながら、総合的に判断していく。

### その他の質問

- 教育環境等
- 太鼓踊り等の継承

▶緊急出動が増えています

23年度出動回数  
火災 28件。 救急 3,004件  
救助 35件。 警戒 3件  
その他 61件  
119番通報受信件数 5,224件。

# 建昌小

## 児童数の推移

教育長／現施設で対応可能



森川和美議員

森川 建昌小の児童数の推移を問う。  
校区内で住宅建築申請が増加しているが、問題はなにか。  
教育長 児童数は23年度900人、24年度917人と約20人増えている。転出入を考慮しない場合、現6年生と新1年生の増減の関係から25年度は、883人、26年度は909人と推計される。  
住宅建築申請が増えてはいるが、現施設の中で対応可能である。

新消防庁舎のはしご車配置  
市長／想定し庁舎建設

森川 近年、救急車出動が非常に増加している。高い救命効果をめざす為の工夫はなされているか。  
新消防庁舎建設計画にはしご車配置はあるのか。  
市長 高い救命効果を目指すために、市民への応急手当講習、AED普及、救急医療情報キット等の啓発活動を推進し、重症患者にはドクターヘリを積極的に活用している。  
はしご車配置を想定し車両の長さ、高さ及び幅を考慮した庁舎建設を検討している。

その他の質問  
○公共施設の維持・管理  
○地方公務員給与

# スマートIC

## 計画と公表の予定

市長／24年12月に行う



笹井義一議員

比較表を作成して地区協議会に提出する。  
笹井 第2次実施計画で桜島サービスエリアにスマートインターチェンジ設置を推進すると明記している。なぜ、帖佐バスストップが出てくるのか。

市長 基本的な考え方として明記されている。偏りが無いように双方を比較検討している。

地区協議会メンバー  
九州地方整備局、西日本高速道路(株)、鹿児島県、学識経験者、始良市、県警(オプザーバー)

笹井 スマートインターチェンジの設置については、平成22年10月から設置可能性調査・実施計画書作成・道路接続協議書作成など各種業務を委託している。

市民に対する詳細説明の時期を示せ。  
市長 12月に開催する地区協議会で位置、運用方法などが決定される。  
その後周辺道路の整備計画を含めて具体的に提示する。

設置位置については、桜島サービスエリアと帖佐バスストップ双方の、地域の状況や経済性など



▲スマートICの設置候補地の桜島SA

## 子育て支援

### 赤ちゃんの駅設置

市長／公共・民間施設で取組む



竹下日出志議員

竹下 乳幼児を連れれた母親が、気軽に外出できるように「赤ちゃんの駅」を公共施設に設置すること、民間施設に設置を依頼する考えはないか。  
市長 赤ちゃんの駅は、ベビーベッド等のおむつ替できる設備、プライバシーの確保に配慮された授乳スペースである。市内の一部公共施設では授乳室を設置し、おむつ交換等に応えている。今後、子育て支援のまちづくりに官民で取組む



▲気軽に外出できます（総合運動公園体育館）

### クレジットカードで納税

市長／情報化推進委員会で審議

竹下 税金や水道料金、市営住宅家賃等の公共料金のクレジットカードによる支払い制度を導入する考えはないか。

市長 クレジット収納は、手元に現金を必要としない支払い方法であり、鹿児島県内では県の普通自

動車税が、クレジットカード決済により窓口に向かなくても支払いできる。今後、情報化推進委員会等で審議し、行政サービス向上面でも研究する。

### その他の質問

- 防災・減災総点検運動
- 救急車に音声翻訳導入
- 投票事務の改善

## 教育環境

### 整備は十分か

教育長／一定の確保されている



河東律子議員

河東 学校の施設や備品の整備は、要求に対して十分できているか。  
○教師用パソコン  
○建昌小プール入口のトイレ  
教育長 各学校から要望を挙げてもらい、一定の確保はされている。教師用パソコンは、ひ

とり一台が基準であるが、満たしていない。  
トイレは、校庭利用者に必要なトイレとして、改善を含め検討していかなければならないと考えている。

### ハローワークの増設

市長／協議をすすめる

河東 ハローワークの建物整備は、市が行うことになっている。

利用者が多くなっているが、増設はできないか。  
市長 1日最大の窓口相談者は86人、求人検索用パソコン利用者は157人となっている。利用者は増加傾向にあり、待ち時間が長いなどの声がハローワークに寄せられている。  
鹿児島労働局及びハローワーク国分と更に協議を進めていく。



▲教師用パソコンを充実して

# 成人式

## 1月4日に

### 教育長／アンケート調査等で検討



神村次郎議員

神村 成人式を、実家に帰省する人が多いお盆や松の内等に開催するケースが、鹿児島県内の自治体でも多くなっている。1月4日に開催できないか。  
教育長 新成人を対象としたアンケート調査で、



▲貴重な干潟と松林の景観（重富海岸）

希望の多かった成人の日の前日に実施している。正月5日までの開催希望が、約3割あるので、ここ1〜2年でアンケート調査等を実施し、日程について検討する。

### 景観計画・条例 市長／28年以降に整備

神村 始良市は、景観の保全と創造に向けた景観行政団体となった。将来のまちづくりの効果と、施策を問う。

### その他の質問

○陶夢ランド駐車場

景観計画、条例の整備時期はいつか。  
市長 地域の歴史や自然文化等を活かしたまちづくりで市のイメージアップにつながる。  
良好な景観の形成のため、景観計画区域や景観地区等を定める。  
景観計画や条例等の整備時期は、平成28年以降に整備する。

# 学校給食

## 自校方式

教育長／基本的な方向性が示されるまでは現状を維持



田口幸一議員

田口 旧始良町の自校方式は、いつまで続くのか。建昌小学校、松原小学校、建昌幼稚園、帖佐幼稚園の給食はどうなるか。  
山田小、山田中、北山小の給食、旧加治木町、旧蒲生町の給食、調理員の実態、食材の調達、栄養士の配置を示せ。  
教育長 「学校給食在り方検討委員会」で基本的な方向性が示されるまでは、現在の自校方式は維持する。山田小、山田中、北山小もこれまで同様の方法で提供する。  
今回建設する別棟給食

室は、建昌・松原両小学校、建昌・帖佐両幼稚園に給食を提供するもので、現在の他の自校方式に影響を与えることはない。  
加治木地区、蒲生地区はセンター方式であり、加治木は調理・配送業務を、蒲生は配送業務を民



▲おいしい給食をありがとう（自校方式の重富中）

間委託している。調理員は正規14人、非正規36人である。食材は県学校給食会等から購入している。栄養士は8人配置されている。

### その他の質問

- 自治会活動と行政連絡
- 白銀坂駐車場の設置
- 起債の繰上償還
- 医療費の抑制

# 期限延長への対応

## 過疎法改正

市長／重心をソフト事業へ移す



湯之原一郎議員

湯之原 過疎地域自立促進特別措置法の有効期限が、5年間延長された。旧蒲生町地域がみなし過疎地域になっているが、期限延長により過疎債の活用策の対応方針を問う。市長 過疎債は、基本的には過疎地域自立促進計画に沿って実施される事

業費の財源として活用する。

地域の特性に適合した産業の振興、生活環境の整備、公共交通網の再構築、高齢者対策の推進、

コミュニティ活動の推進等の施策の実施にあたって、ハード事業からソフト事業へ重心を移しながら、起債が行われることが望ましいと考える。

湯之原 合併推進債についても発行期限が5年間延長されたが、どのような方針で対応していくか。

### ■過疎債とは？

①人口減少率 ②高齢化率 ③財政力指数の3要件をすべて満たした自治体が「過疎地域」に指定される。「過疎地域自立促進計画」を策定し、有利な起債（過疎債）の借入ができる。事業費の100%を起債でき、その内の70%は、後年度に地方交付税で補てんされる。

### ■合併推進債とは？

新合併特例法下で合併した市町村の公共施設整備事業に、国が支援する制度。事業費の90%を起債で借入れることができ、元利償還金の50%を国が地方交付税として補てんする。

市長 合併推進債は、合併した市町村のまちづくりのために、特定の公共施設の整備に活用されるものである。

消防署、火葬場などに続く公共施設の整備計画の策定を急ぐ。

### その他の質問

○農業農村振興ビジョン

○林業施策

# 重富駅裏

## 周辺整備を急げ

市長／計画的な整備を検討



里山和子議員

里山 帖佐駅、始良駅周辺整備も進んできたが、重富駅裏側の道路整備や環境整備については、今後どのような計画になつていくのか。急いで整備すべきと考えるがどうか。市長 都市計画マスタープランでも、駅前広場や重富駅までのアクセス道路の必要性を記載する予定で協議しており、重要な路線であることは十分認識している。今後、計画的な整備を検討していく。

### 防災対策

市長／優先順位で検討

里山 重富漁港周辺の岩崎用地から、大雨の時水があふれ、岩崎道路や周辺の民家や車等が浸水し、少なからぬ被害を受けて

いる。

遊水池や排水路の拡幅満潮時のポンプアップ等を急いで検討すべきではないか。

市長 市内全域の排水対策計画の中で、優先順位を立てて検討していく。

また、思川河口の土砂除去については、始良伊佐地域振興局と協議しながら検討していく。

### その他の質問

○危険廃屋解体撤去

○税務相談に委任状



▲道路を広げて 重富駅裏を

# 学ぶ

## 委員会 レポート

福井県小浜市おばまし

産業文教

### 食のまちづくり

平成24年8月8日、福井県小浜市で、学校給食と食育、地元農産品の学校給食への活用を調査しました。

#### 食のまちづくり条例制定

小浜市では、地域の財産である豊かな食に着目し、食を重要な政策の柱に据えた「食のまちづくり」を進めています。

平成13年には、全国初



▲豊かな食材は地域の財産

「食のまちづくり条例」を制定していました。食育については、将来のまちの発展を担う人づくりの観点から特に力を入れており、人は命を受けた瞬間から老いていく

まで生涯を通じて食に育まれることから「生涯食育」という概念を提唱しています。子どもたちの料理教室や地場産学校給食、成人向け各種料理教室、ふるさと料理の会食など、あらゆる世代を対象に食育事業を実施しており、平成16年には「食育文化都市」を宣言しています。

学校給食では、子どもたちが将来にわたって食や食材に関心を持ち、食への感謝の気持ちを育むことや、自分が住んでいる地域の良さを理解できる大人に育つことを目標として、市内の全小・中学校校区内の生産者から優先的に食材を調達する「校区内型地場産学校給食」を取り入れています。

始良市では、週5日の内、米飯3回、パン食2回となっていますが、小浜市では、週5回とも小浜産米の自校炊飯による完全米飯給食を実施しています。

#### 研修を終えて思うこと

始良市と小浜市の状況には、格段の差があります。

その中で、生涯食育の観点や、学校給食のあり方、子どもたちが食を通して、人や地域とのつながりを深め、食の大切さについて身をもって体験できる方策を考えていく必要があると感じました。

## 第1回 始良市議会

### 議会報告会を開催

#### 議員と市民で

#### 語り合ひましょう

始良市議会は、平成24年3月議会で「議会基本条例」を制定しました。

に意見を交換する場です。ぜひ皆さまのご意見を お聞かせください。

議会と議員活動を活性化し充実させ、議会活動を通して市民の皆さまの声を議会に反映させることが目的です。

今回、第1回議会報告会を開催します。

議会報告会は、市政に関する情報を、市議会独自の視点から、市民の皆さまにお知らせすること、また、市民と議会が自由

議員は3班に分かれて全員が参加します。



▲開かれた親しまれる議会を目指します

# 学ぶ

## 委員会 レポート

福井県小浜市おばまし

産業文教

### 食のまちづくり

平成24年8月8日、福井県小浜市で、学校給食と食育、地元農産品の学校給食への活用を調査しました。

#### 食のまちづくり条例制定

小浜市では、地域の財産である豊かな食に着目し、食を重要な政策の柱に据えた「食のまちづくり」を進めています。

平成13年には、全国初



▲豊かな食材は地域の財産

「食のまちづくり条例」を制定していました。食育については、将来のまちの発展を担う人づくりの観点から特に力を入れており、人は命を受けた瞬間から老いていく

まで生涯を通じて食に育まれることから「生涯食育」という概念を提唱しています。子どもたちの料理教室や地場産学校給食、成人向け各種料理教室、ふるさと料理の会食など、あらゆる世代を対象に食育事業を実施しており、平成16年には「食育文化都市」を宣言しています。

学校給食では、子どもたちが将来にわたって食や食材に関心を持ち、食への感謝の気持ちを育むことや、自分が住んでいる地域の良さを理解できる大人に育つことを目標として、市内の全小・中学校校区内の生産者から優先的に食材を調達する「校区内型地場産学校給食」を取り入れています。

始良市では、週5日の内、米飯3回、パン食2回となっていますが、小浜市では、週5回とも小浜産米の自校炊飯による完全米飯給食を実施しています。

#### 研修を終えて思うこと

始良市と小浜市の状況には、格段の差があります。

その中で、生涯食育の観点や、学校給食のあり方、子どもたちが食を通して、人や地域とのつながりを深め、食の大切さについて身をもって体験できる方策を考えていく必要があると感じました。

## 第1回 始良市議会

### 議会報告会を開催

#### 議員と市民で

#### 語り合いました

始良市議会は、平成24年3月議会で「議会基本条例」を制定しました。

議会と議員活動を活性化し充実させ、議会活動を通して市民の皆さまの声を議会に反映させることが目的です。

議会報告会は、市政に関する情報を、市議会独自の視点から、市民の皆さまにお知らせすること、また、市民と議会が自由に

に意見を交換する場です。ぜひ皆さまのご意見を お聞かせください。

今回、第1回議会報告会を開催します。

始良・加治木・蒲生の3会場に分かれて、12月17日・18日・19日に開催します。

議員は3班に分かれて全員が参加します。



▲開かれた親しまれる議会を目指します

# 先進地に



▲宮島スマートインターチェンジ(広島県)でメリットが大きくなった

広島県甘日市はつかいちし

建設水道

## スマートインターチェンジ

始良市都市計画の街づくりで、スマートインターチェンジの設置計画があります。

8月6日広島県甘日市の宮島スマートICの調査を行いました。宮島スマートIC設置構想は、職員の発想によるものでした。

### 設置目的

五日市ICは、山陽自動車道に、甘日市ICは広島岩国道路にあつて、宮島サービスエリアは両方の接点に位置しています。

この場所にスマートICを設置することで、甘日市IC利用時の迂回を考慮すると、広島方面へ向かう市中心部の5割以上が宮島スマートICを利用するメリットが大きいことです。

### 設置までの経緯

①平成19年5月に、宮島スマートIC社会実験実施計画書を国土交通省に提出。

②平成19年7月に、宮島スマートIC社会実験採択。市の負担は、アクセス道路設置費用として約7千万円の予定でしたが、新たに補償費等の費用として4億円要しています。

③平成20年3月に宮島スマートIC社会実験開始  
④平成21年3月に、社会実験終了。  
⑤本格共用開始。

本計画の推進には、県から2人の職員が派遣されており、今回の説明も派遣職員によるものでした。

昇降の利用台数は840台/日で、ピークは午前7時～8時の間が52%、午後5時～7時までの間が40%で、通勤通学や仕事・業務のために利用されています。

### 研修を終えて思うこと

宮島スマートICを設置することには、目的が明確に示されていました。加治木ICと始良ICの間は約9kmです。始良ICから3kmしか離れていない桜島SAにスマートIC設置の必要があるのか、ということも考えられます。

そういったことから、スマートIC設置目的を明確にする必要があると思います。

開かれた親しまれる議会を目指します。皆様のご意見をお聞かせください。

開催日時 (受付:午後6時30分から)	開催場所
12月17日(月) 午後7時～8時30分	始良公民館 2階 会議室
12月18日(火) 午後7時～8時30分	加治木福祉センター 1階 会議室
12月19日(水) 午後7時～8時30分	蒲生公民館 1階 大ホール

※ご来場の際は、議会だよりNo.10 (11月30日発行) をお持ちください。

●問合せ先: 始良市議会事務局 TEL0995-65-2332

# あん質問な いけんなった

# 追跡

## 「空き家管理条例」の制定

空き家の軒数は年々増加している。管理不全な状態を防ぐため「空き家等の適性管理に関する条例」を制定する考えはないか。

平成22年12月・23年12月議会



▲持ってあんしん、始救あんしん携帯カード

## 答弁／今後、調査研究する

〈現在の取り組み〉空き家実態調査  
市内全域を自治会ごとに実態調査を行っている。

## 「救急安心カード」の作成と配布

持病や服用薬、かかりつけ医療機関救急連絡先などを書き込める「救急安心カード」を作成して、市民へ配布する考えはないか。

平成24年3月議会



▲年々増加する空き家

## 答弁／先進地を参考に検討

救急活動を円滑に実施できる。今後、先進地を参考に検討する。

平成24年9月9日（救急の日）  
「始救あんしん携帯カード」として利用を希望されるかたに配布開始。



# 女性の目線でおもてなしガイド

加っ歩倶楽部会長

内村陽子さんに聞く

ふるさと始良が、ますます好きになってくるのではないのでしょうか。

## 最後にひとこと

を案内するだけではなく、特産品の販売促進のお手伝いができたらと思っています。

加治木を選んで訪れて来て下さる方々に、感謝の気持ちでガイドしています。

お忙しい中、貴重なお話をありがとうございます。

7割が女性の「加っ歩倶楽部」です。女性ならではの、細やかなおもてなしをめざしています。今後は、観光スポット

今後女性ならではの目線で、加治木のすばらしさを伝えてください。  
(聞き手 河東)

始良市には、始良・加治木・蒲生3地区に、観光ボランティア協会が設立され、それぞれに活動してられます。前号では、始良観光ボランティア協会の活動の様子をお伝えしました。今回は、加治木観光ボランティア協会「加っ歩倶楽部」の会長内村陽子さんに、お話を伺いました。

## 観光ボランティアに応募された動機は？

ができました。

広報紙でガイド募集を知り、すぐさま応募したわけです。

数年前、熱海に旅行した時、シニアの方がバスに乗りこんで、ボランティアでガイドされているのを見て、何とサービスの良い町なのだろうと、とてもうれしかった思い出があります。

現在どのような活動をされていますか。

年数回、定期的にまちあるきを企画しています。中でも春と秋の「歴史

篤姫ブームで指宿に行った時も、ボランティアガイドの方に案内してもらい、より深く知ること



▲楽しみながら活動をされている様子が伝わってきます (インタビュー中の内村さん)

街道龍門司坂を歩こう」は好評を博しています。

また、今年は大阪から、さんふらわあツアーのお客様を毎週お迎えして、龍門司坂と龍門滝の案内をしています。

観光ボランティアをしようのようなくことを感じられていますか。

加治木に数十年も住ん

でいながら、足元のことをほとんど知りませんでした。

名所や史跡などには、必ずそれにまつわる話があります。

始良市には、すばらしい景色もあります。子ども頃から、それらに興味をもってほしいと思います。そうすることによって

そうすることによって



▲龍門滝をバックに案内中

